

(知事公室)

(単位:千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>3 安心を実現する</p> <p>【戦略10】災害に負けない熊本</p> <p>戦略10 - 災害に負けない社会インフラ、ソフト対策の強化</p> <p>自助・共助・公助を強化する</p>	<p>27,397</p> <p>2,352</p> <p>133,331</p>	<p>22,982</p> <p>947</p> <p>113,367</p>	<p>1 自主防災組織率向上対策事業                  自主防災組織率80%（平成27年度末）を達成するため、組織の新規設立や活動活性化のための助成や組織率の低い市町と共催で自治会役員を対象にした研修会を6回開催するなど、市町村及び地域の取組みを支援した。                  併せて、地域防災リーダーを育成する「火の国ぼうさい塾」の開催や優良自主防災組織への知事表彰により活動の活性化を促進した。（組織率 H27.4.1 76.7% H28.4.1 80%以上達成見込み）                  H28.4.1の組織率は、熊本地震の影響により未調査</p> <p>2 住民避難モデル実証事業                  深夜に大雨等が予想される場合や、台風の接近が予想される場合に、危険が差し迫っていない段階で日没前に早めの住民避難を促す「予防的避難」を普及させるため、市町村を対象としたモデル事業を実施した。                  モデル事業の実施主体である市町村に対し、避難所開設経費の一部を県が助成することで市町村の取組みを促進した。                  モデル事業実績 宇土市・阿蘇市・南阿蘇村で延べ248人が避難</p> <p>3 九州広域防災拠点強化整備事業                  「九州を支える広域防災拠点構想」に基づき、広域防災活動拠点の機能強化のための整備を実施しており、平成27年3月、南海トラフ地震における国の防災計画において、阿蘇くまもと空港が大規模な広域防災拠点に選定（全国で5か所選定）されたほか、同年4月には、熊本地方合同庁舎B棟が九州地方における政府の現地対策本部の候補施設に選定され、国において施設整備が行われている。                  (1) 総合防災航空センター（仮称）：設計、造成工事（68,406千円）                  (2) 県民総合運動公園：太陽光発電設備整備（41,486千円）</p>	<p>防災総務費のうち P151</p> <p>防災総務費のうち P151</p> <p>防災総務費のうち P151</p>

(知事公室)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
4 百年の礎を築く 【戦略11】熊本都市圏の拠点性向上 戦略11 - 州都をめざした取組みの展開 拠点性を高める	133,331	113,367	1 九州広域防災拠点強化整備事業(再掲)(P1)に記載	防災総務費のうち P151
6 その他 (1) 重要政策調整事業	20,000	14,678	1 重要政策調整事業 知事からの指示事項や年度途中に発生した重要案件等について、必要な事業を実施した(事業実施所属へ令達) (1) ミラノ国際博覧会出展及び熊本・ミラノ交流会開催事業(むらづくり課) 世界農業遺産・阿蘇を世界に向けて強くアピールするため、阿蘇の地域住民や経済界と一体となり、ミラノ国際博覧会における「熊本の日」イベントや、在ミラノのマスコミ関係者と熊本経済界等との交流会を開催した。 (2) 「くまモン」ピクトデザイン等制作事業及びJR大阪駅「時空の広場」くまもとプロモーション実施事業(くまもとブランド推進課) 2019年のラグビーワールドカップ及び女子ハンドボール世界選手権大会の熊本開催に向けた機運醸成のため、くまモンの認知度を有効活用し、スポーツをしているくまモンのイラスト(ピクト)を作成した。さらに、九州新幹線全線開通5周年を機に、JR大阪駅「時空の広場」においてくまモンを活用したくまもとプロモーションを実施した。 (3) 阿蘇くまもと空港国際線定期便3路線広報事業(交通政策課) 阿蘇くまもと空港に就航するソウル線、台湾・高雄線、香港線といった国際線定期便の利用促進を図るとともに、12月の香港線定期便就航に併せ、本県の「アジアとつながる」取組みを効果的にPRし、国際線利用に関する機運醸成を図った。	計画調査費のうち P136~P137
(2) 広聴広報の推進	1,253	713	1 広聴事業 県政についての県民の意見や要望を幅広く聴き、県の施策に反映させた。 (1) 知事への直行便(郵送・メール): 県内約620か所に設置(345件処理) (2) 県民対話事業: 知事から県政の成果を報告し、直接、県民と意見交換を行う「くまもと華トーク」を実施。開催地(参加者数): 熊本市(80名)、人吉市(140名)	広報費のうち P125~P126

(知事公室)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(2) 広聴広報の推進)	209,179	190,484	<p>2 広報事業</p> <p>県の施策、事業について、様々な広報媒体を活用しながら、県民への説明責任を意識した情報提供に努めるとともに、県外に向けて、本県の認知度向上を目指し、熊本の個性や魅力について広く情報発信を行った。</p> <p>(1) 新聞紙面広報 新聞5紙に24回掲載</p> <p>(2) ラジオ広報 ・RKK「ふれあいくまもと」：3分番組（毎週月～金曜日・年262回放送） ・FMK「県庁ダイアリー」：3分番組（毎週月～金曜日・年262回放送）</p> <p>(3) テレビ広報 ・RKK「はっ県！くまモンラボ」：4分30秒番組（毎週水曜日・年45回放送、特番30分2回放送）</p> <p>(4) くまもとの魅力発信事業 ・県外の人々に熊本への興味・関心を持ってもらうため、くまモンを活用した効果的なイメージアップ広報を展開した。 ・九州向け広報では、阿蘇山噴火風評被害対策のためのラジオ・テレビ広報や交通広告を行った。</p> <p>(5) 熊本県広報誌発行事業（「県からのたより」） ・規格：タブロイド判、4ページ 発行回数：年6回(偶数月) 発行部数：58万5千部/回</p> <p>(6) ウェブ活用広報事業 ・メール広報誌「気になる！くまもと」配信 配信頻度：週1回（毎週木曜日） 登録者数（配信数）：34,381人（平成28年4月1日現在） ・県ホームページ運営管理 タイムリーな情報発信に努め、年間約200万件のアクセスがあった。</p> <p>(7) 首都圏広報強化事業 熊本の魅力を“赤”の統一ブランドイメージで積極的に発信し、くまモンを活用しながら、効果的な広報を展開した。 この他、熊本市をはじめ、共通の歴史・文化を背景として新宿区・文京区と連携した広報、首都圏で話題性のあるイベント、企画等とのタイアップ、更には、パブリシティ広報などを積極的に展開した。</p>	<p>広報費のうち P125～P126</p>